

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30 31 34	日常の健康管理の中で、一人ひとりの持病や薬の内容・効果からの状態の変化・経過などを見ていく視点が十分ではない	1人ひとりの持病や、高齢者に起こりやすい症状を学ぶ	①病歴と服薬から、普段の健康管理や観察のポイントの理解をする ②家族・医療関係者に状態や経過が的確に情報提供できるように伝達方法を改善します ③認知症やその他高齢者が罹患しやすい病気について学びます	12ヶ月
2	35	災害はいつ起こるか分からないため、いざという時に備えて定期的に訓練を行い、実践力を身に付けていくことが必要です	万が一の災害に備えて、昼夜を問わず利用者が安全に避難できる方法や体制作りをします	①災害を想定した実践的な訓練、備品の準備、点検を定期的実施します ②地域や消防に働きかけ、地域との協力体制を築きます ③職員の意識向上のため、教育訓練の実施	12ヶ月
3	19	家族の思い・要望をより伝えやすい環境を作る	家族の思い・要望を汲み取り、改善していく	①信頼関係構築のため、日頃からのコミュニケーションを密に図る ②家族の思い・要望を職員間で共有する ③改善状況を、便りでお知らせする	12ヶ月
4	37	生活する中で、人の動きや物音を敏感に感じとられ、混乱する場面がみられる	居心地のよい環境作り	①利用者にとっての不快や混乱を招くような刺激はどのようなものがあるか学習する ②利用者の立場に立って過ごす機会を設ける	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。